

2026

臨床研修(初期・専門)のご案内

Information on clinical training 2026



KYORIN

 杏林大学医学部附属病院

<http://www.kyorin-u.ac.jp/hospital/>

杏林大学の建学の精神

真・善・美の探究

KYORIN UNIVERSITY HOSPITAL



杏林大学医学部付属病院 診療センター・診療科

高度救命救急センター	感染症科	眼科(アイセンター)
総合周産期母子医療センター	高齢診療科	耳鼻咽喉科
腎・透析センター	精神神経科	産婦人科
がんセンター	小児科	放射線科
脳卒中センター	上部消化管外科	放射線治療科
造血細胞治療センター	下部消化管外科	麻酔科
予防医学センター	肝胆膵外科	腫瘍内科
周術期管理センター	呼吸器・甲状腺外科	リハビリテーション科
遺伝子治療センター	乳腺外科	救急総合診療科
呼吸器内科	小児外科	顎口腔外科
循環器内科	脳神経外科	病理診断科
消化器内科	心臓血管外科	臨床検査科
糖尿病・内分泌・代謝内科	整形外科	総合診療科
血液内科	皮膚科	脳卒中科
腎臓・リウマチ膠原病内科	形成外科・美容外科	
脳神経内科	泌尿器科	

許可病床数

1,055床

外来患者数

1,945人
(1日平均・救急含む)

入院患者数

794人
(1日平均)

救急
外来患者数

59人
(1日平均)

ご挨拶



働きやすい環境で 研修しませんか

病院長

近藤 晴彦

当院は、東京都人口の約3分の1を占める多摩地域で唯一の大学病院本院、特定機能病院です。周辺には井の頭公園や神代植物公園など昔の武蔵野の面影を残す緑豊かな名所が数多く残っており、働く環境にも恵まれております。1、2次救急から3次救急を担う高度救命救急センター、そして総合周産期母子医療センター、脳卒中センターなどの専門性が高い救急医療まで、24時間の救急体制をとっております。一方で、難治性の慢性疾患診療や最新のがん診療、高難度手術等にも各診療科の優秀なスタッフが取り組んでおります。このため、当院の研修プログラムでは、common diseaseから救急医療、希少な疾患まで幅広く研修し、高度専門医療も体験することができます。また、医師の働き方改革にも十分配慮したプログラムにもなっております。院内感染対策や医療安全にも力をいれており、将来においても重要な基本の習得ができます。当院の理念は「**あたたかい心のかよう、良質な医療を患者さんに提供します**」であり、診療科の垣根にこだわらず患者さん中心の医療をしています。そして「良医を育てる」を医師教育のモットーとしています。病院として初期研修医の皆さんが充実した研修ができるように応援いたします。



ご挨拶

総合研修センター長

福原 浩

当院は、高度急性期医療を担う大学病院として専門性の高い医療を提供するとともに、地域医療の中核病院として幅広い疾患に対応しています。当院には、多様な症例を経験できる豊富な臨床環境があり、診療科の垣根を越えた連携のもと、質の高い医療・教育を実践しています。総合研修センターでは、研修医の先生方が安心して学び、成長できる環境づくりを大切にしています。当院には、各専門領域のエキスパートが多数在籍しており、日々の診療を通じて実践的な知識と技術を学ぶことができます。また、多くの指導医が「研修指導医講習会」を受講しており、教育に対する高い意識を持って研修医指導に取り組んでいます。さらに、研修医室、研修医講義室、クリニカルシミュレーションラボラトリー、リモートアクセス可能な電子図書館、医学情報データベース「UpToDate」など、教育・学習環境も充実しています。日常診療のみならず、カンファレンスやシミュレーション教育を通じて、幅広い臨床能力を身につけることが可能です。加えて、男女共同参画推進室を中心に、子育てや介護と仕事・研究活動を両立できる支援体制も整備されています。復職支援制度を含め、多様なライフスタイルに応じた柔軟な働き方が可能であることも当院の大きな特徴です。感染対策をはじめとする医療安全管理体制も充実しており、安心して研修に専念できる環境が整っています。当院では、初期臨床研修から専門研修、その先のキャリア形成に至るまで、一人ひとりの目標に応じた成長を支援しています。皆様が杏林大学医学部付属病院で充実した研修生活を送り、将来の医療を担う医師として大きく成長されることを心より期待しております。病院見学も随時受け付けておりますので、ぜひお気軽にご連絡ください(連絡先は裏表紙をご覧ください)。

CONTENTS

- ご挨拶 02
- 病院概要 02
- 初期臨床研修 03
- 研修環境 05
- 病院・キャンパスと周辺のご案内 07
- 専門研修 09
- アクセス 裏表紙

熱心な指導により、医師としての基本的な能力(知・技・心)の習得を支援します

Initial clinical training

初期臨床研修の理念と目標

杏林大学医学部付属病院の初期臨床研修は、将来選択する専門領域にかかわらず、その土台となる以下の基本的臨床能力の習得を目標とします。

- ① 医師にふさわしい責任感・倫理観を身につける。
- ② 患者の立場・気持ちを深く理解し、思いやることができる。
- ③ 頻度の高い疾患・病態に関する適切な知識を有し、それを個々の患者に応用できる。
- ④ 患者の病状をよく把握し、適切な検査・治療を計画できる。
- ⑤ 患者、家族に対して検査・治療の説明を適切に行い、同意を得ることができる。
- ⑥ 医療スタッフとコミュニケーションをよく取り、よい人間関係を築く。
- ⑦ ルールを遵守し安全な医療を実践する。
- ⑧ 適切な基本的診察・検査・治療技能を身につける。



この目標の達成のため、次のような研修を提供します。

- ① 将来進みたい領域に合わせて2種類のプログラムを用意しました。
- ② 一次から三次まで幅広い救急研修ができます。
- ③ 8週間の麻酔科研修により、気管挿管などの手技、呼吸管理や体液管理などがマスターできます。
- ④ 地域医師会・僻地の病院との連携により、有意義な地域医療研修が行えます。
- ⑤ 症例数が豊富でハイレベルな専門診療科において高い診療能力を身につけることができます。
- ⑥ 侵襲的な手技を安心して繰り返し練習できるクリニカル・シミュレーション・ラボを整備しました。
- ⑦ 常勤医の約3分の2は、指導能力向上のための講習(指導医養成ワークショップ)を受講しています。受講者の割合は毎年増加しています。
- ⑧ 看護部、検査部、事務部などの協力により、病院全体で研修医を育てる体制を構築しています。

初期臨床研修

平成30年の臨床研修制度見直しに対応するために、以下の対策を取りました。

1. 厚生労働省の定める到達目標の大幅改訂に合わせ、病院全体および各分野の到達目標を見直しました。
2. 外科、産婦人科、小児科、精神科が必修となりましたが、当院のプログラムは従来からこれらの分野を必修にしていたので、必修科目の変更はありません。
3. 外来研修の必修化にも対応しています。
4. 「平成30年の臨床研修制度見直しに対応するために、以下の対策を取りました。」について全国共通の評価表とともに、これまで用いていた評価票をもとにした当院独自の評価票を併用し、より正確できめ細かな研修評価を行います。
5. 28週間の自由選択期間がありますので、将来の進路に適した分野を選んで研修することができます。

地域医療研修先(2年次必修)

各地域研修先(医療施設) 2025年度実績、2026年度予定

東京都：昭島市、杉並区、世田谷区、調布市、府中市、三鷹市、武蔵野市、
奥多摩町、三宅村(地域枠)

北海道(滝川市、富良野市、紋別市、紋別群遠軽町)、
岩手県、福島県、千葉県、高知県、長崎県(離島)



選べる3つのプログラム

研修プログラム

杏林大学 医学部附属病院 一般コース

制度の定める必修科目である「内科(内科外来研修含む28週間)」、「救急(12週間)」、「外科(4週間)」、「産婦人科(4週間)」、「小児科(4週間)」、「精神神経科(4週間)」、「地域医療(4週間)」の他に、「麻酔科(8週間)」を必修とし、「救急と全身管理に強い医師」の養成をめざしています。自由選択期間は28週間あり、プログラム責任者の助言のもとに、将来の進路を見据えた自分なりのプログラムを組むことができます。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1年次	内科						麻酔科		外科	内科 外来	選択	
2年次	救総A		救総B		産	精	小	選択				

杏林大学 医学部附属病院 広域連携型 コース

基本的なコンセプトは「一般コース」と同じですが、医師少数数にある連携施設(茨城県または岩手県の臨床研修病院)において地域医療を2年目の半年間で重点的に研修することが出来ます。当院のみならず他県で地域医療を深く学ぶことが出来るコースです。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1年次	内科						麻酔科		外科	内科 外来	選択	
2年次	救総A		救総B		産	精	小	茨城県または岩手県の連携病院にて研修 (必修科目「地域医療(4週間)」を含む)				

杏林大学 医学部附属病院 産婦人科・ 小児科重点コース

「産婦人科・小児科重点コース」も基本的なコンセプトは「一般コース」と同じですが、産婦人科あるいは小児科の研修期間を長くとり、この領域の研修が重点的に行えるようになっていきます。また、産婦人科あるいは小児科以外に、将来の進路に役立つと思われる科を研修することも可能です(但し、2年間で産婦人科または小児科を12週間研修する必要あり)。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1年次	産	小	外科	麻酔科		内科 外来	内科					
2年次	救総A		救総B		精	地	選択	選択：原則として産または小				

救総A：救急総合診療科A(三次救急)、救総B：救急総合診療科B(一次・二次救急)、産：産婦人科、精：精神神経科、小：小児科、地：地域医療

※ローテーションの順序は個々の研修医によって異なります。

※内科は呼吸器、腎臓・リウマチ膠原病、神経(または脳卒中)、循環器、血液、消化器、糖尿病・内分泌・代謝、高齢の8領域から6領域を選択します。

※外科は消化器・一般外科、呼吸器・甲状腺外科、心臓血管外科から1科を選択します。

研修医の声



栗村 采那さん

私は杏林大学を卒業し、当院の一般コースで初期研修を行いました。

当院を研修先として選んだ理由は、志望する診療科が絞れていなかったため診療科の多い大病院での研修が望ましく、実習の際の指導医の先生方の印象もよかったからです。

当院での研修の特徴として、まず経験できる症例の幅が広いことが挙げられます。大病院という特性上、重症例や稀な疾患、最新治療を経験することができる一方、いわゆるcommon diseasesの症例も多く経験することができました。特に1・2次救急外来ではwalk in患者や救急車のfirst touchを研修医が担当することも多く、自ら診察、鑑別、検査を立案し診療を行うことで学びの多い研修を行

うことができました。

次に、研修医が守られた環境であることも当院の研修の特徴です。医師になったとはいえ研修の最初はわからないことだらけです。当院の研修では上級医への報告や相談が義務となっており、上級医の先生方も丁寧にご指導くださるため、患者さんと自分自身、双方の安全のもと安心して研修に取り組むことができました。その一方で、研修医のやる気次第で様々なことに挑戦することも可能で、診療における手技やプレゼンテーションだけでなく、学会発表やトレーニングラボへの参加の機会もたくさんあります。同期も約50人と多く、半数以上が当院での後期研修に臨みます。2年間ともに切磋琢磨した多くの同期と、来年度以降はそれぞれの診療科で力を発揮していけることを楽しみにしています。

ぜひ見学にいらして、当院の雰囲気を実感してみてください。



松木 拓未さん

研修医2年目の松木拓未です。私は、杏林大学を卒業し、そのまま同大病院に一般コースで初期臨床研修を行いました。救急科志望であった私が当院を選んだ理由としては、高度救命救急センターがあること、学生時の病院実習で優しい先生方が多く雰囲気良かったこと、同期も多く勝手がわかっていて働きやすそうだったことなどが挙げられます。

結果的に当院での初期研修は非常に満足したものになりました。大病院であり、給料こそ多くないものの(2025年度途中から基本給が4万円アップしました)、働きやすく成長ができる環境が整っていると思いました。一般コースだと1年目に2ヶ月、2年目には5ヶ月ローテーションする科の選択が可能となっており、自由度のある働き方が実現します。また24時間営業のローソンや朝早くから開いているスタバもあるとこ

ろも働きやすさの一助になっているかと思われま。また、自分の姿勢次第ではありますが、手技や手術の機会も多く、資格の取得や学会発表等の機会もあります。手技に関しては、静脈路、Aline確保や採血はもちろん、胃管、CV、胸腔ドレーン挿入、腰椎、骨髄穿刺、気管挿管等多くの手技の機会がたくさんあります。

研修医同期は50人程度(1年目2年目合わせて100名程度)ですが、非常にアットホームな環境です。研修医室には1人1つの机があり、プライベートの空間も用意されています。なんでも相談に乗ってくださる秘書さんや研修センターの方々もいて、恵まれた環境だと思います。

そんな当院での初期研修に少しでも興味があれば、優しい上級医、研修医がたくさんいると思いますので、ぜひ気軽に見学にいらしてください。

一人一人の夢を実現するために、 万全の研修環境を提供します

Training environment

医療施設

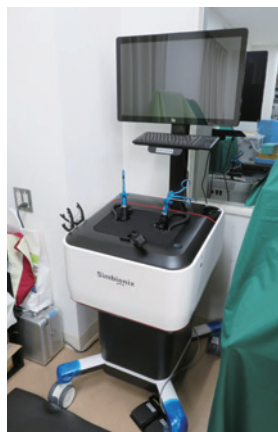
特定機能病院、東京西部地域の一・二次、三次救急医療の基幹病院およびがん拠点病院としての使命を担っています。平成7年には、厚生労働大臣の認定する全国10ヶ所(当時)の高度救命救急センターの一つに認定され医療の質、その規模、内容ともに全国トップクラスの評価を受けています。



HCU



クリニカルシミュレーションラボラトリー



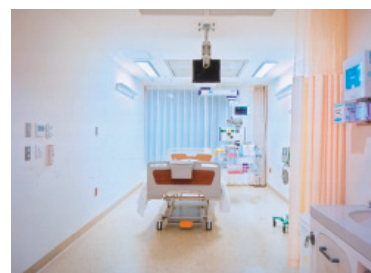
内視鏡手術シミュレーター



手術室



TCC(高度救命救急センター)



ICU

クリニカル・シミュレーション・ラボ

クリニカル・シミュレーション・ラボラトリー(略称CSL)では、医師、医学部・保健学部の学生や教員、看護師、メディカルスタッフなどが随時トレーニングを行えるように、色々なシミュレーション器具を取り揃えています。

シミュレーター

蘇生(成人、小児)、気道管理、中心静脈穿刺、腰椎穿刺、静脈注射、導尿、皮膚縫合、鏡視下手術、超音波装置、除細動装置、乳癌触診、直腸診など

主な設備

- 総床面積 約114m²
- ホワイトボード 2台
- スクリーン 2台



図書館

医学図書館は、学園の教職員・学生のための施設です。約3,000m²の館内に約6万9千冊の医学図書があります。電子ジャーナルや文献データベースを中心としたオンラインサービスにも力を入れています。約10万5千タイトルのほか、臨床支援データベースのUpToDate、The Cochrane Libraryを導入して、診療・研究・教育活動をサポートしています。平日は8時30分から22時30分、土日祝日は9時から22時30分に開館しています。リモートアクセスサービスに登録すると、自宅から文献検索データベースや電子ジャーナルを利用することができます。個人ポータルサイト「MyLibrary」をお使いいただくと、オンラインで資料の予約、文献取り寄せの申込などができます。



大閲覧室



文献検索エリア



新着雑誌エリア

研修医室・研修医講義室

研修医1年目・2年目の学年ごとに研修医室があり、一人ひとりに机・ロッカーがあります。Wi-Fiの使用も可能となっています。



大学院講堂

講演会、学会、式典などに幅広く利用されています。
席数：243席、車椅子席2台分



職員寮

(令和8年5月現在)

病院から徒歩10分圏内に、マンション形式の独身者用職員寮があります。
(空き部屋がなく、入寮できない場合もあります。)

寮費／1か月

寮費36,500円～43,500円・共益費3,000円・保険料200円

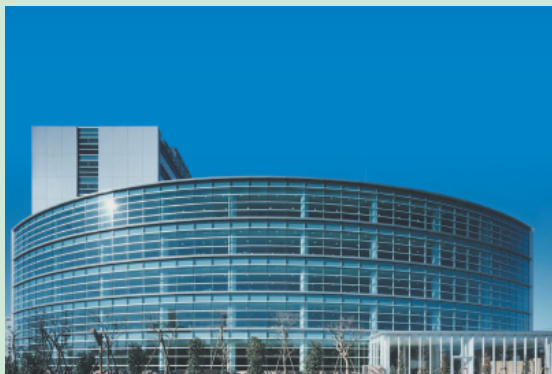
部屋の一例

占有面積約24m²／RC構造／3階建て／エアコン完備／バス・トイレ別／都市ガス／居間フローリング／室内洗濯機置き場有／CATV視聴可(武蔵野三鷹CTV)／駐輪場有／駐車場なし／オートロック／WiFi完備

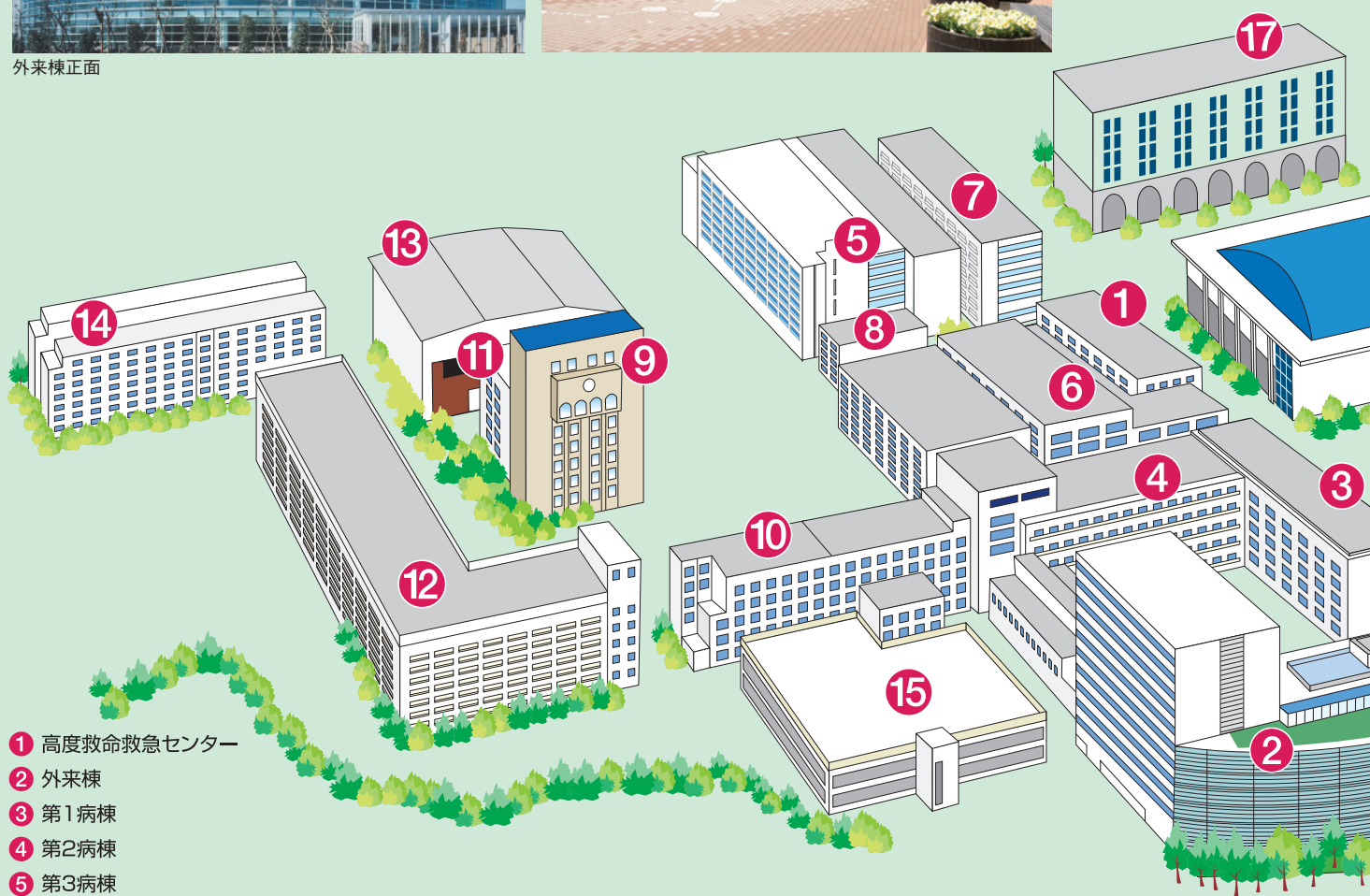


住みよい街、美しいキャンパスで 快適な研修生活を

Information on hospitals / Campuses and their surroundings



外来棟正面



- ① 高度救命救急センター
- ② 外来棟
- ③ 第1病棟
- ④ 第2病棟
- ⑤ 第3病棟
- ⑥ 中央病棟
- ⑦ 外科病棟
- ⑧ D棟(5F研修医室)
- ⑨ 医学資料情報センター(本部棟)
- ⑩ 医学部講義棟B・学食
- ⑪ 医学図書館
- ⑫ 基礎医学研究棟・臨床医学研究棟
- ⑬ 松田記念館(体育館)
- ⑭ 看護・医学教育研究棟
- ⑮ 病院駐車場
- ⑯ 松田進勇記念アリーナ
- ⑰ 医学部講義棟A

院内アメニティ施設のご案内

ローソン



スターバックス



ナチュラルローソン



ガーデンテラス 日比谷松本楼





病院・キャンパス周辺情報



三鷹駅



吉祥寺駅



杏林大学 井の頭キャンパス



井の頭公園



三鷹の森ジブリ美術館
©Muséed'Arte Ghibli.

院内には、カフェや24時間営業のコンビニエンスストアなどのアメニティ施設があります。



安定した身分と充実した研修プログラムにより、 さまざまな領域で活躍できる医師の育成を目指します

Professional training

専門研修

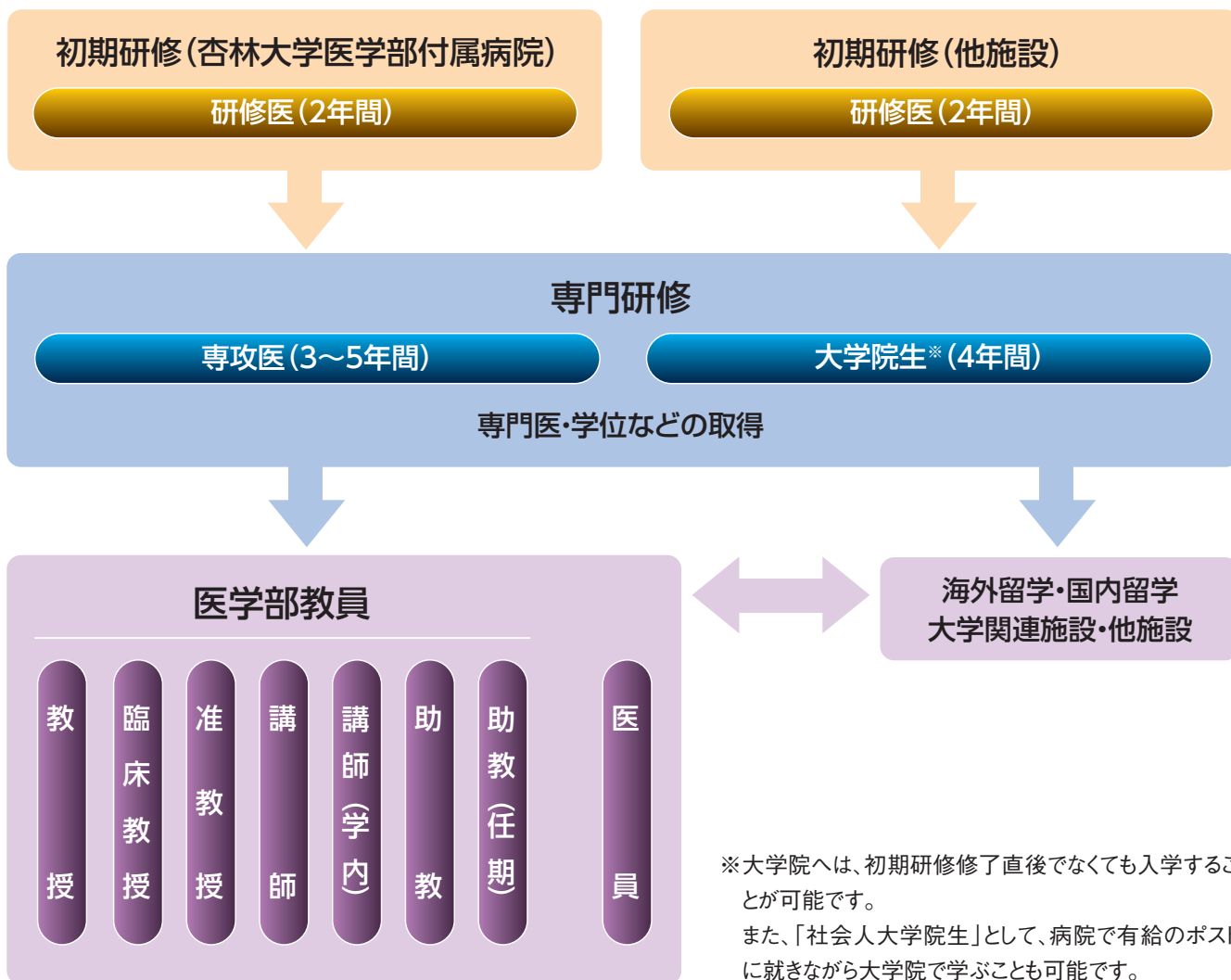
個々のキャリア形成を親身になってサポートします。

平成30年度から開始された新専門医制度に則り、19の基本専門領域のすべてで「専門研修プログラム」を作成しました。専攻医の身分・処遇を明確にして経済的な不安がないようにしています。また、妊娠・出産、子育て、あるいは介護などでフルタイムの仕事ができない状況でも仕事を継続できるように支援しています。

また、「社会人大学院」の制度があるので、研修医(2年目)あるいは専攻医として病院で勤務しながら、大学院の課程を修めることができます。専門医資格と学位(医学博士)の取得まで、責任を持って指導します。



杏林大学医学部附属病院の卒後教育の概要



※大学院へは、初期研修修了直後でなくても入学することが可能です。
また、「社会人大学院生」として、病院で有給のポストに就きながら大学院で学ぶことも可能です。

杏林大学医学部附属病院の専門研修の理念と目的

大学内のみならず、医療界の様々な場面で活躍できる、次のような人材の育成をめざします。

- ① 高度の専門的な診療能力を持った医師
- ② 研究心、研究能力を持った医師
- ③ 後進を適切に指導する能力を持った医師

この目的を達成するために、安定した身分と処遇、各科の専門研修プログラムに基づいた適切な研修環境を提供します。

取得できる専門医・指導医資格

新専門医制度におけるサブスペシャリティの専門資格については現在検討中ですが、参考のため旧制度において当院での専門研修により取得できた資格を示します。

専門医など

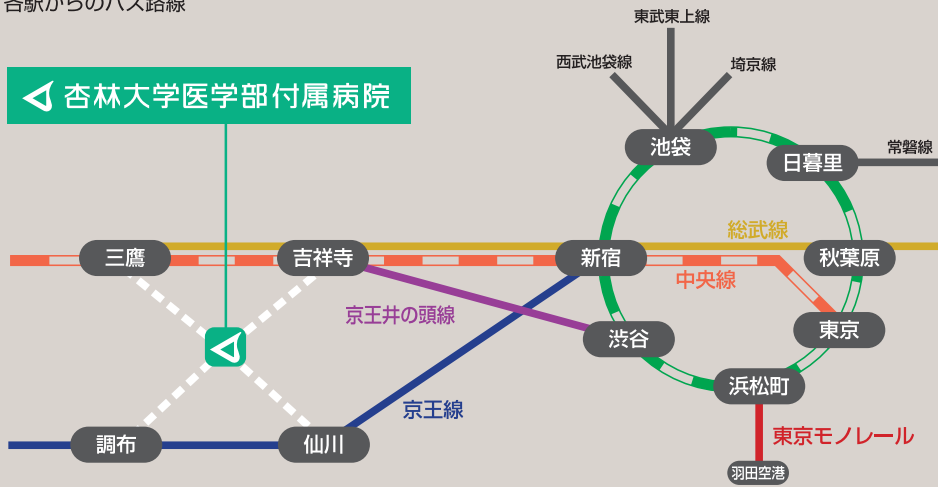
下肢静脈瘤血管内焼灼術実施医・指導医	日本外科感染症学会外科周術期感染管理認定医	日本糖尿病学会専門医・指導医
胸部大動脈瘤ステントグラフト実施医・指導医	日本血液学会専門医	日本内視鏡外科学会技術認定医
外科周術期感染管理認定医	日本呼吸器学会呼吸器専門医	日本内分泌学会専門医・指導医
甲状腺外科専門医	日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡専門医	日本乳癌学会乳癌認定医・専門医
呼吸器外科専門医	日本産科婦人科学会専門医	日本認知症学会専門医
死体解剖資格	日本耳鼻咽喉科学会専門医	日本熱傷学会熱傷専門医
神経超音波検査士	日本集中治療学会専門医	日本脳神経外科学会専門医
心臓血管外科専門医	日本循環器学会専門医	日本脳卒中学会脳卒中専門医
精神保健指定医	日本消化管学会胃腸科専門医	日本泌尿器科学会専門医
総合内科専門医	日本消化器外科学会専門医・指導医	日本泌尿器科学会泌尿器腹腔鏡技術認定医
頭頸部癌専門医	日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医	日本皮膚科学会認定皮膚科専門医
内視鏡技術認定医	日本消化器内視鏡学会消化器内視鏡専門医・指導医	日本病理学会病理専門医
内分泌外科専門医	日本消化器病学会専門医・指導医	日本ペインクリニック学会専門医
日本アレルギー学会アレルギー専門医	日本小児科学会専門医	日本ヘリコバクター学会認定医
日本医学放射線学会放射線科認定医・専門医	日本小児外科学会専門医	日本麻酔科学会専門医・麻酔科標榜医
日本医学放射線学会放射線診断専門医・治療専門医	日本小児麻酔専門医	日本脈管学会認定脈管専門医
日本インターベンショナルラジオロジー学会専門医	日本食道学会食道科認定医	日本輸血・細胞治療学会認定医
日本化学療法学会抗菌化学療法指導医	日本神経学会専門医	日本リウマチ学会リウマチ専門医
日本カプセル内視鏡学会認定医	日本心臓血管麻酔専門医	日本リハビリテーション医学会専門医
日本眼科学会専門医	日本腎臓学会腎臓専門医	日本臨床検査医学会臨床検査専門医
日本感染症学会感染症専門医	日本睡眠学会認定医	日本臨床細胞学会細胞診専門医
日本肝臓病学会肝臓専門医	日本頭痛学会専門医	日本臨床腫瘍学会がん薬物療法専門医
日本肝胆膵外科学会高度技能専門医	日本性機能学会専門医	日本臨床神経生理学会認定医
日本がん治療認定医機構がん治療認定医・教育医	日本整形外科学会整形外科専門医	日本レーザー医学会レーザー専門医
日本緩和医療学会認定医・専門医	日本精神神経学会精神科専門医	日本老年医学会老年病専門医
日本気管食道科学会気管食道科専門医	日本大腸肛門病学会専門医・指導医	日本老年精神医学会専門医
日本救急医学会専門医	日本胆道学会認定指導医	腹部大動脈瘤ステントグラフト実施医・指導医
日本区域麻酔学会認定医	日本超音波医学会超音波専門医	臨床遺伝専門医
日本形成外科学会専門医	日本てんかん学会認定医(臨床専門医)	
日本外科学会外科専門医・指導医	日本透析医学会専門医	

他多数

※取得できることを保証するものではありません。

----- 各駅からのバス路線

杏林大学医学部付属病院



■ JR中央線 三鷹駅南口<約20分>

- のりば7 仙川行、晃華学園東行、新川団地中央行→「杏林大学病院前」バス停下車
- のりば8 野ヶ谷行→「杏林大学病院入口」バス停下車

■ JR中央線・京王井の頭線 吉祥寺駅南口<約20分>

- のりば6 野ヶ谷行、深大寺行→「杏林大学病院入口」バス停下車
- のりば6 調布駅北口行(杏林経由)→「杏林大学病院前」バス停下車
- のりば7 仙川行、新川団地行→「杏林大学病院前」バス停下車

■ 京王線 仙川駅<約15分>

- のりば1 吉祥寺駅中央口行、三鷹駅行→「杏林大学病院前」バス停下車
- ※バス停は商店街を抜け、甲州街道を渡ったところにあります。

■ 京王線 調布駅北口<約25分>

- のりば11 三鷹駅行(杏林経由)→「杏林大学病院前」バス停下車
- のりば12 吉祥寺駅-吉祥寺駅中央口行(野ヶ谷経由)→「杏林大学病院前」バス停下車

各種お問い合わせは下記へご連絡ください。

TEL:0422-47-5511(代)

k-match@ksot.kyorin-u.ac.jp

〒181-8611 東京都三鷹市新川6-20-2

杏林大学医学部付属病院 総合研修センター